

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

May 2013.5
No.1015

表紙 仙美里中学校入学式
「最後の新入生」



つながる地域

白糠町との新たな地域間連携が始まります



つながる地域

白糠町との新たな地域間連携が始まります

平成25年3月22日。本別町と白糠町は、両町が有する自然環境や農水産物など、さまざまな地域資源を効果的に活用しながら、お互いの地域づくりを進める包括連携協定を締結しました。今後両町は、連携交流を通じた取り組みにより、さらなる地域活性化や安心安全のまちづくりを進めていきます。



北海道庁において、高橋はるみ知事立ち合いのもと行われた調印式
(左から) 棚野白糠町長、高橋北海道知事、高橋本別町長

本別町と白糠町との包括交流連携協定書

本別町と白糠町は、相互の理解と絆を深めることにより、さらなる両地域の個性ある発展と住民生活の向上を期し、ここに包括交流連携協定を締結する。

- この目標達成に向けて両町は協議の上、産業、スポーツ・文化、そして災害対策などの分野において、それぞれの地域の特性を尊重し補完しあいながら、連携協力して多様な取り組みを積極的に推進する。
- 本協定は、両町の組織、町長等に変更が生じて、何等その影響を受けるものではない。

平成25年3月22日

本別町長 高橋正夫
白糠町長 棚野孝夫

① 包括交流連携協定

北海道が昨年度から検討を進めていたもので平成25年度から北海道が市町村間の仲介役となり、地域特性が異なる市町村同士が、不足する地域資源を相互に補完し合いながら、産業、文化、スポーツなど日常的な交流により、地域の活性化や災害時における相互応援など、幅広い交流を行うことを目指す取り組みです。今回の本別町と白糠町の協定締結は、道内第1号となりました。

② 協定締結に至った経緯

今後の道東道「本別―釧路間」の開通を控え、釧路圏との人や物の行き来を活性化させ、交流人口の拡大や地域経済の活性化を図ること、また、東日本大震災の教訓から、白糠町が津波災害時に町民の安心・安全を確保するための応援体制を内陸のまちに求めているため、北海道が仲介する形で協定を締結することになりました。

③ 取り組みの内容

当面は、まちづくりなどの情報交流（行政交流、イベントなど）での特産品の相互販売（観光・物産交流）、防災訓練の共同実施や災害時の相互支援体制の構築（防災・災害対策）について協議を進める予定です。白糠町は、本別町から距離も近く両町民の認知度も高いため、将来的にはさまざまな分野での交流発展の可能性があると考えています。

白糠町の概要

釧路管内南西部に位置し、東西は釧路市、北は浦幌町、本別町、足寄町に接し、南は太平洋に面している。秋から冬にかけての日照時間が長く、積雪は少ない。今年秋には30メガの太陽光発電施設が稼働予定。基幹産業は農林水の一次産業。人口9021人（平成25年3月末）。

森林、川、海の自然がもたらす豊富な地域資源を生かし、「一次産業の再興と振興」、「町民の健康づくり」、「教育」の三本柱にキープワードの「食と食材」を結び付け、まちづくりに取り組んでいます。

※詳しい情報は、広報ほんべつ6月号でお知らせします

岬の森東山公園から見た白糠の街並みと太平洋。ここから見る夕日が絶景

「包括交流連携協定」締結

平常時の連携 + 災害時の支援

- 日常的な連携から、災害など非常時の効果的な支援へ
- 広域的な連携から地域の活性化へ

効果

地理的に離れていたり、振興局のエリアを越えた地域との連携により「相互補完機能」を発揮

- 万が一の災害時の応援（安全安心の確保）
- 「海のみち」と「山のみち」など地域特性の相違を生かした人や物など総合的な交流（地域の活性化）

1万6000株のエゾムラサキツツジと2000本のエゾヤマザクラ、盛りだくさんの催しで皆さんをお迎えします。

第55回本別山溪

つつじ祭り

小雨
決行

5月12日 日 SUN 午前10時-

義経の里本別公園

主催：本別山溪つつじ祭り実行委員会

ニトリ北海道応援基金

本別町民植樹祭 を開催します

町では、ニトリ北海道応援基金の助成を受け、「森林の持つ公益的機能の啓蒙、緑化思想の普及」と「多くの人々に親しまれる山」づくりおよび、景観を重視した「本別町桜ともみじの山」造成のため、次の通り「町民植樹祭」を開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

▼と き
5月17日(金)

午前10時-午前11時

▼と ころ

新 生

※入口に看板を設置します

▼集 合 場 所

役場玄関前(南側)

※午前9時20分にバスを運行します

※直接、植樹祭会場に行かれる人は午前10時までにお越しください

主な催し物

- ☆にじます釣り(放流)
- ☆ジャンボ義経鍋
- ☆ふわふわランド
- ☆ゲーム大会
- ☆郷土芸能
- 本別義経太鼓
- 本別駒おどり
- ☆野 点
- ☆モデル撮影会



ネゴシックス
お笑いライブステージ
午後0時45分



問い合わせ

実行委員会事務局 企画振興課商工観光・元気まち担当 ☎22-2141
本別町観光協会事務局 ☎22-3306

▼植 栽 内 容

さくら 70本

もみじ 45本

▼申 し 込 み

5月9日(木)まで

▼そ の 他

参加に当たっては、スコップ、軍手、長靴等をご用意ください



申し込みおよび問い合わせ

農林課林務・耕地整備担当

☎22-8126

チャレンジデー

2013

スポーツは健やかな日々へのパスポート

日常生活に運動やスポーツなどを定期的に取り入れ、健康な心と体を養うきっかけづくりとして、チャレンジデーを開催します。全町的な取り組みを目指しています。一人でも多くの皆さんの参加をお待ちしています。

とき 5月29日(水) 午前0時～午後9時

ところ 町内ならどこでもOK

対象 子どもから大人まで

主催 本別町チャレンジデー実行委員会



チャレンジデーとは?

毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている、住民総参加型のスポーツイベント。この日は、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して運動やスポーツをした「住民参加率」を競い合うものです。また、参加率によって「金」「銀」「銅」メダルが授与されますので、「金」メダルを目指して頑張りましょう!

対戦相手は?

初参加の山梨県南部町(人口約8900人)です。

図書館では、「南部町」を紹介するコーナーを設置しています。地図やパンフレットのほか、観光地なども紹介していますのでご来館ください。

対戦に取れた場合?

相手自治体の町旗を庁舎メインホールに1週間掲揚し、相手の健闘をたたえます。

昨年参加者の声



今野保雄 さん
柳町

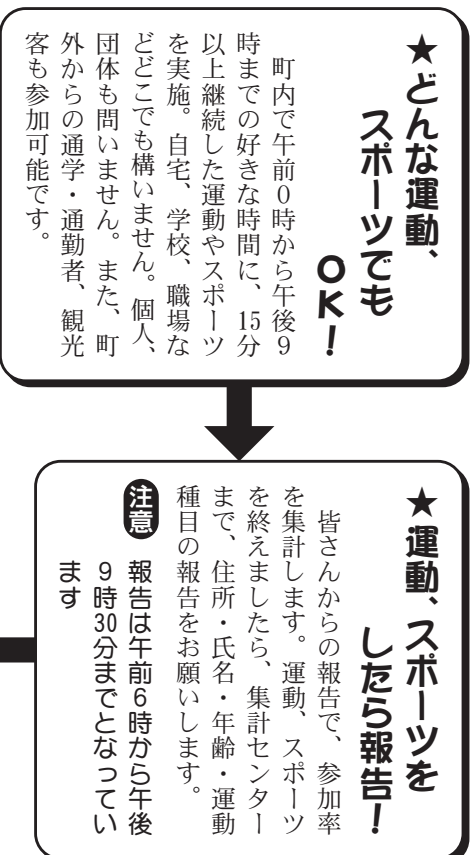
昨年のチャレンジデーでは知り合いと一緒に神居山を登山しました。途中で疲れてしまいましたが、お互いに励まし合って無事に山頂まで登りきりました。山頂でもらったお茶のどを潤し、見渡した本別の街並みは最高でした。運動・スポーツは体だけではなく、心も鍛えてくれます。とても気持ちのよい一日でした。



渋谷富子 さん
北3丁目

健康のため、毎朝テレビを見てラジオ体操を行っているほか、定期的に仲間と一緒に体を動かしています。昨年は役場前のラジオ体操に参加しました。自分の健康を守るのには自分だけだと思ってしまう。健康のため運動することはもっとも手軽な方法です。仲間と一緒に運動を続けたいと思います。

チャレンジデー参加の流れ



★どんな運動、スポーツでもOK!
町内で午前0時から午後9時までの好きな時間に、15分以上継続した運動やスポーツを実施。自宅、学校、職場などどこでも構いません。個人、団体も問いません。また、町外からの通学・通勤者、観光客も参加可能です。

★運動、スポーツをしたら報告!
皆さんからの報告で、参加率を集計します。運動、スポーツを終えたら、集計センターまで、住所・氏名・年齢・運動種目の報告をお願いします。
注意 報告は午前6時から午後9時30分までとなります。

★集計センター(本部)町体育館内)
☎22-14555 ファクス22-14666
Eメール c-day@town.honbetsu.hokkaido.jp

※集計ボックスも設置しますのでご利用ください
集計ボックスの設置場所および報告方法については、5月15日号からの情報紙「かけはし」の折り込みチラシで詳しくお知らせいたします。

参加報告のイメージ

| | | | | | |
|-----|-----|------|-----|-----|--------|
| 個人 | 自治会 | 企業職場 | 学校 | 団体 | イベント会場 |
| 代表者 | 代表者 | 代表者 | 代表者 | 代表者 | 代表者 |

☎・ファクス・Eメール 直接持参・集計BOX回収など
集計センター(事務局)

チャレンジデー参加に伴う町体育施設等の無料開放について

○個人
次の施設を無料開放しますので、是非ご利用ください。なお、町民以外の人も無料となります。

| 施設名 | 開放時間 |
|--------------|------------|
| 太陽の丘・義経の里PG場 | 午前9時～午後5時 |
| 体力増進センター | 午前10時～午後8時 |
| 町民水泳プール | 午後1時～午後8時 |
| ふれあい多目的アリーナ | 午後7時～午後9時 |

○団体
職場やグループなどの団体が、町体育施設や学校開放を使用する場合には、無料となります。取り組みを検討している団体がありましたら、事務局までご連絡ください。なお、施設に限りがあるため使用できない場合もありますのでご了承ください。

問い合わせ
本別町チャレンジデー実行委員会事務局(町体育館内スポーツ担当)
☎22-2331



★パークゴルフ大会
 午後1時～
 太陽の丘パークゴルフ場
 500円 賞品あり
 男女別個人戦36ホール
 5月22日(水)までにパークゴルフ協会 吉田武久さん(☎090-6212-9343)へ

★ゲートボール大会
 午前8時30分～
 午後1時30分
 ふれあい多目的アリーナ
 5月20日(月)までにゲートボール協会 矢部英夫さん(☎22-5529)へ
 ※5人1組で申し込みください

★勝毎杯

ミニバレーボール大会
 午後7時～午後9時30分
 本別中学校体育館
 混成(男2女2)
 160歳未満の部
 160歳以上の部
 ※男子1人女子3人のチーム構成も可
 1人500円
 参加賞・賞品あり
 5月9日(木)までにミニバレー協会 高瀬英明さん(☎およびファクス22-2249)へ

★バスケットボール 体験交流会

午後6時～午後9時
 本別中央小学校第1体育館
 ミニバス、ジュニア、高校、一般の部
 ※個人・チーム参加どちらでも可(町外の人も参加可)
 バスケットボール協会 川口道行さん(☎090-8709-5713)へ
 ※当日申し込み可

★弓道体験会

午後4時～午後6時30分
 ふれあい多目的アリーナ
 弓道連盟 七田章さん(☎090-6993-8668)へ
 ※当日申し込み可

★バドミントン体験会

午後6時30分～
 町体育館大ホール
 バドミントン協会 山西美奈子さん(☎090-3771-2976)へ
 ※当日申し込み可
 ※興味のある人は遊びに来てください。初心者にもやさしく丁寧に指導します



町体育協会加盟団体主催イベント



実行委員会ならびに町体育協会加盟団体では、チャレンジデー開催に合わせて、なかなか一人で運動は...という人のために、次の通りスポーツイベントを実施します。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

イベント情報

参加料 無料

参加賞 あり

実行委員会主催イベント

| イベント名 | 時間 | 会場 | 定員 | 申込 |
|--|------------------------------|---|------|----|
| 早朝ノルディックウォーキング教室 ※指導員 北海道ノルディックウォーキング協会 ※用具は貸し出しします | 午前6時～ 午前7時 | 町体育館集合 ※受け付け後、市街地へ ※雨天時は多目的アリーナ | 40人 | 要 |
| 「オープニングイベント」 おはようラジオ体操 ※終了後にパンと牛乳を提供(数に限りあり) | 午前7時15分～ 午前7時30分 | 役場正面玄関(南側)前 ※雨天時は町体育館内 | 無 | 不要 |
| 爽快! 神居山から 本別町を見渡しましょう ※頂上では、お茶を用意しています | 午前10時～正午 | 神居山頂上 ※散策希望者は午前10時に道の駅集合 ※各自で登ってもOK | 無 | 不要 |
| ふまねつと ガンバルーン体験会 ※2 | 午前10時～正午 午後1時30分～ 午後3時 | あいの里交流センター 仙美里地区公民館 美里別地区公民館 | 各50人 | 不要 |
| ショッピングウォーク ニッポスポーツや軽スポーツにチャレンジ あなたもチャレンジ! いきいき健康づくり! 体育館へGO! | 午前10時～ 午後5時 | フクハラ、Aコープ 町体育館大競技室 | 無 | 不要 |
| 「ファイナルイベント」 ナイトウォーキング ※ゴール後抽選会開催(景品数に限りあり) | 午後5時～ 午後8時30分 | 町体育館で受け付け後、市街地へ(受付・午後5時～午後7時30分) | 無 | 不要 |

○申し込み町体育館内スポーツ担当 ☎22-2331

※1 床に敷いたマス目50cm四方の大きな網を、踏まないようにゆっくり歩く運動
 ※2 ボールを使った、握る、投げる、転がすなどの運動

自治会も 取り組みます

自治会でも取り組みます! ぜひご参加ください。詳しくは、5月15日号くらしの情報紙「かけはし」の折り込みチラシでお知らせします。



交通安全を呼び掛ける

ドライバーへ

警友会本別支部（坂井久恵支部長）会員11人が4月8日、本別ライオンズクラブ（藤田尚幸会長）会員19人が4月11日、北8丁目のふれあい公園で、建友会（三木哲会長）会員30人が4月10日、南4丁目の国道242号線沿いで交通安全キャンペーンを実施しました。各会員らは道行くドライバーに「交通安全啓発チラシ」や「夜光反射材」などを手渡ししながら安全運転を呼び掛けました。

4/11

本別ライオンズクラブ



4/10

建友会



4/8

警友会本別支部



4/10

交通安全指導員会
春の登校時交通安全キャンペーン



子供たちへ

本別ライオンズクラブ（藤田尚幸会長）が4月5日、町内4保育所へ通う幼児へ遠くからでも目立つ黄色の交通安全帽子58個を贈呈したほか、交通安全指導員会（宮崎統会長）、交通安全母の会（田西喜代会長）、本別中央小学校（帰山孝美校長）、勇足小学校（曾根広至校長）が新入学児童など子供たちの安全を願い、各種交通安全運動を行いました。

4/5

本別ライオンズクラブ
交通安全帽子贈呈式



4/23

勇足小学校交通安全教室
（大型車の死角体験）



交通安全母の会 新入学児童を交通事故から守るキャンペーン

4/11

本別中央小学校

勇足小学校 4/10



4/12

仙美里小学校

交通安全を願って



本別中央小学校交通安全教室 4/16

本別中央小学校1年生30人を対象とした交通安全教室が4月16日、同校周辺で行われ、児童らは横断歩道の渡り方など事故に遭わないための交通ルールを学びました。

雪解けによる解放感や走りやすさからくる油断がスピードの出し過ぎにつながる春。悲惨な交通事故の根絶を願い、「春の全国交通安全運動（4月6日から15日）」出動式が4月5日、本別警察署前で行われました。この出動式を皮切りに、町内ではさまざまな団体が各種交通安全キャンペーンをスタートさせました。

4/5

交通安全運動出動式



十勝管内の交通事故状況

平成24年の十勝管内の交通事故死者数は16人。このうち2人が本別町民です。平成25年においては、十勝管内ですでに7人（4月21日現在）が交通事故で亡くなっており、昨年同月と比べて5人の増となっています。

互いに

交通安全ルールを守り、安全安心な社会を

交通事故は、ほんの一瞬の気の緩みやスピードの出し過ぎ、前方不注意などによって引き起こされ、取り返しのつかない事態を招いてしまいます。事故は、被害者・加害者としてその家族や周りの多くの人の心にも傷を残します。大切な命を守るためにも、自動車を運転するドライバーはもちろん、自転車利用者やすべての歩行者が互いに交通安全ルールを守り、安全安心な社会を築くことが重要です。

町民の皆さんへ

町内では、平成23年10月から今年4月までの1年半の間に4件の死亡交通事故が発生しています。通り慣れた道の走行は、気の緩みからくる脇見や居眠りなどが事故につながります。町民の皆さんには、交通事故を防ぐためにも、家庭や職場、学校などで互いに「車に気を付けて」などと一声掛け合ってほしいと思います。



野村泰則 本別警察署長



第28年次 本別・南三陸ふるさと交流研修会

3/26~29

3月26日から3泊4日で、中央公民館を中心に第28次本別・南三陸ふるさと交流研修会が開催されました。今年は、宮城県南三陸町ジュニアリーダーの精鋭10人が来町。本別町の参加者21人と合わせて31人での活動となりました。この研修会では、夏は本別町から南三陸町へ、春は南三陸町から本別町へ行き来し、地域で活躍するジュニアリーダーを目指す中高生が、その地域でその季節でしかできない活動を通じて心の交流を深めています。今回は、この研修会の卒業生も応援に駆けつけてくれたことで、さらに充実した交流となりました。

3月26日(火)



南三陸町ジュニアリーダー10人が、高橋正夫町長を表敬訪問。

南三陸町の皆さん、ようこそ本別町へ！いよいよ研修会のスタートです。



夕食は本別町市街地婦人会の特製カレーライス&揚げいも！ごちそうさまでした！



3月27日(水)

上土幌町三股で「歩くスキー」。天候、積雪ともに抜群のコンディション。



3月28日(木)



美里別「ひまわり牧場」で動物たちとの触れ合い。

中央公民館で昼食づくり。創作料理と思いきや、カフェのランチ並みの腕前に引率者も驚き。



3月29日(金)



涙のお別れ式。この涙が、今回の交流会がどれだけ充実していたかを物語っています。

再会を誓った後、楽しかった思い出を胸に南三陸町のジュニアリーダーたちは本別町をあとにしました。



研修会を終えて

この交流会は東日本大震災により継続が危ぶまれましたが、多くの皆さんのご支援により、平成24年度は夏から通常開催することができました。

南三陸町は震災から2年が過ぎ、建物の基礎も撤去されつつありますが、まだまだ人の手を必要としているものがあり、基幹産業の漁業の支援もその一つのことでした。中高生リーダーたちの活動も震災前と同じとは行かない状況が続いており、両町の中高生たちはこの交流会が「心の支え」になっています。被災地の一日も早い復興を祈り、育んできた友情の灯が絶えぬよう、これからも心の交流がずっと続くことを願っています。

社会教育課
社会教育担当

夢と感動の配達人「ジュニアリーダー」大募集中!

本別ボランティアクラブかめでは、地域で活躍する中高生ボランティアリーダーを募集しています!

問い合わせ 中央公民館内社会教育担当 ☎ 22-5111



夜はレクリエーション交歓会。お互いの町の参加者がレクリエーションを披露しながら楽しみました。



町体育館で町の青年の皆さんに指導してもらい、玉入れ競技大会。筋肉痛必至です。



最後の夜は、雪の中の幻想的なキャンプファイア。今回でこの活動を卒業する参加者からの言葉にみな涙。



ネイバルあしよろで雪遊び。ソリが数台破損!?



がん検診

新たな取り組み

日本人の2人に1人ががんになる時代。がんから身を守るのは、あなた自身です。

国民病のひとつになったがん。

町では、町民のがん検診に対して助成をし、がんの早期発見・早期治療に努めています。

今年度からは新たな取り組みとして、本別町と北斗病院（帯広市）が業務提携を結び、同病院で実施されているがんドック「PET（ペット）検診」がこれまでよりも受診しやすくなりました。これを機に、あなたも検診を受けて健康状態を確認しましょう。

本別町の死亡数

トップもがん

本別町の過去5年間（平成19年～同23年）の主要死因別死亡数のデータでは、がんがトップとなっており、死亡数全体の約33%を占め、166人が亡くなっています。これは、死亡数第2位の心疾患、死亡数全体の約16%、死亡数80人を大きく上回る結果となっており、早期発見・早期治療につながる検査の必要性が伺えます。

本別町の主要死因別死亡数

| 順位 | 死因 | 死亡数 |
|-----|-------|------|
| 第1位 | 悪性新生物 | 166人 |
| 第2位 | 心疾患 | 80人 |
| 第3位 | 肺炎 | 43人 |
| 第4位 | 脳血管疾患 | 40人 |

（平成19年～同23年）

がん検診に対する町の助成

町では、町民の皆さんの負担軽減を図るため、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん検診にかかる検査料に対し、一部助成をしているほか、検診内容によっては無料クーポン券も配布しています。詳しい日程や受診方法などは、その都度「健康管理センターだより」でお知らせしていますので、ご確認ください。

北斗病院のPET

これまでよりも受診しやすくなりました

PETとは「陽電子放射断層撮影」という意味で、がん細胞が正常な細胞に比べ3～8倍のブドウ糖を取り込む性質を利用した検査です。ブドウ糖に近い成分の特殊な検査薬を注射することで、ブドウ糖が多く集まる場所を特定し、がんを発見する手掛かりとします。

今年度から北斗病院と本別町が業務協定を結ぶことにより、検診費用6万5000円のところ本別町民は6万円で受けられることになりました。

PETの利点

○レントゲンなどで確認しにく

がんの動向

日本人の2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなる今日、がんは国民病のひとつになりました。がんにかかるといわれるがんは、部位別では、胃がん、肺がん、結腸



がん、結腸

PETの弱点

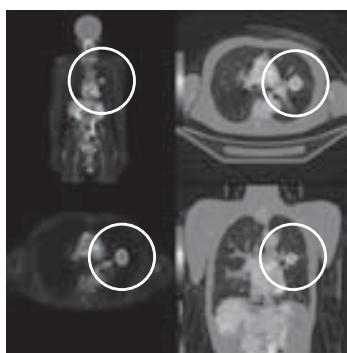
○検査は痛みや苦痛がほとんどなく、衣服を着たまま受けることができるため、精神的にも身体的にも負担が少なく済みます。検査時間は、準備から終了まで約3時間半程度です

○胃や食道などの消化器官粘膜に発生するごく早期のがんや、ごく小さな細胞が散らばって存在する場合は発見が難しいと言われています

○脳、肝臓、心臓、腎臓、尿道、膀胱など、正常でもブドウ糖が集まりやすい臓器や投与した薬が排出される経路などは、がんが発見しにくい傾向にあります

がんの予防法

多くの研究により、がんは生活習慣・生活環境の見直しにより予防できることもわかっていきます。また、早期発見・早期治療を徹底すれば、約半数は治療する時代を迎えています。がんの予防法として知られているのは、たばこを吸わない、



ペットで発見された肺がん

【PET検診データ】

| | |
|-------------|------------------|
| 期 間 | 平成15年7月～平成23年12月 |
| 受診者数 | 6,947人 |
| がん発見数 | 124人 |
| （内訳）※上位10種類 | |
| 甲状腺がん | 29人、大腸がん |
| 23人、肺がん | 15人、乳がん |
| 10人、前立腺がん | 9人、直腸がん |
| 6人、食道がん | 5人、胃がん |
| 5人、すい臓がん | 4人、腎がん |
| 4人 | |

（資料提供：北斗病院）

PET検診

- ▼場所
社会医療法人北斗
北斗病院検診センター
住所 帯広市稲田町基線7番地5
- ▼内容
PET検査、胸腹部CT検査、骨盤部MRI検査、甲状腺エコー、生化学検査（血液、尿便など）
- ▼料金
6万円（税込込み）
- ▼申し込み
直接北斗病院検診センターにお申し込みください。検診日は、担当者との相談の上決定します。
- ▼同意書の署名について
PET検診終了後は、本別町に受診者の情報が伝えられます。検診前に情報を提供することに同意する「同意書」にご署名をいただきます。

問い合わせ

健康管理センター
022-22219

水道工事・下水道工事にぜひ協力を

今年度も水道工事・下水道工事を計画図の通り行います。

水道工事の際には、一時断水や多少水が濁ったりする場合があります。下水道工事では、個所によっては工法上、作業中に車両通行止めのところも出るため、回り道の案内標識をご確認の上、通行をお願いします。

皆さんにはご不便をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

下水道の普及状況は

町公共下水道は皆さんの温かいご理解で、平成3年3月末に供用を開始した後も順調に進み、24年度末で整備面積が270・8ha（事業認可面積357ha中）、管きよ（下水道の埋設）の総延長は50・9kmとなりました。

24年度の水洗化など（トイレ、台所風呂）の状況は、改造工事および新築による接続を合わせて30件（個人、法人、団体すべてを含む）、これまでの累計で2540件となり、水洗化率は88・89%となりました。

水洗化改造工事に融資・補助制度があります

融資あっせん制度は融資額の上限が60万円。自己資金で工事を行った人への補助金の上限は6万円となっています（供用後3年以内に工事をされた場合）。

3年を過ぎてから工事を行った場合は、1年経過ごとに上限の額が少しずつ低くなり、補助については5年で打ち切りとなります。

工事の申し込みは町の指定業者へ

給水装置の新設、改造、修繕、撤去などの水道工事や水洗化改造工事を行うときは、町が指定した指定工事業者へ工事の申し込みをしてください。

指定工事業者が建設水道課へ必要な手続きや、水洗化工事における融資あっせん制度、補助金制度の手続きを取り、工事を行います。

問い合わせ

建設水道課

水道・下水道担当

☎222-8122

平成25年度 水道工事・下水道工事計画図

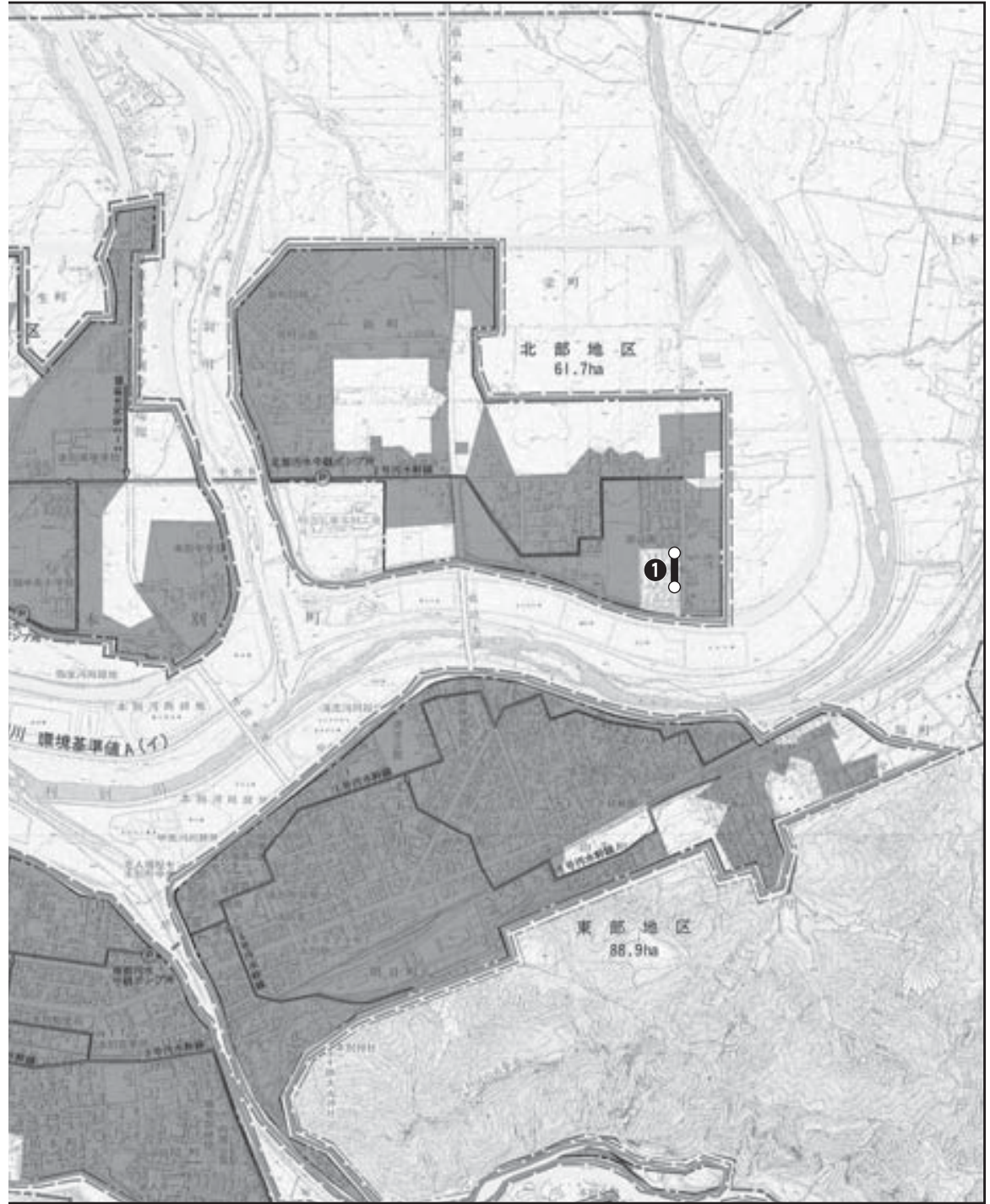
| 凡 | 例 |
|---|-------------------|
| | 平成25年度施工水道工事 |
| | 下水道認可区域 |
| | 平成24年度末までの下水道供用区域 |
| | 平成25年度施工下水道工事 |

水道工事

- ①南地区工業団地水道管整備工事
管径100mm 延長=140m
- ②上水道量水器更新工事
(上水道区域内対象)
取替か所 299か所
- ③仙美里簡易水道配水管整備工事
管径75mm 延長=270m
- ④簡易水道量水器更新工事
(勇足、仙美里、美里別対象)
取替か所 57か所

下水道工事

- ①公共下水道汚水管渠新設工事
管径150mm 延長=52m
- ②南地区工業団地汚水管渠新設工事
管径150mm 延長=100m



暴力団等の排除に関する

合意書調印式



本別町（高橋正夫町長）と本別警察署（野村泰則署長）による「暴力団等の排除に関する合意書調印式」が4月9日、本別警察署で実施されました。

住民の安心安全のために

この調印は、今年3月13日の町議会で議決された本別町暴力団排除条例に基づき、本別町の発注する建設工事や事業、公共施設利用などからの暴力団排除を徹底するために交わされたもので、今後、本別町と本別警察署は、緊密に連携し、情報共有の円滑化を図っていきます。

高橋町長は、「住民の安心安全が一番大切。合意書締結に感謝したい」、野村署長は、「町と一体となり、暴力団排除を進めていきたい」と述べました。なお、平成22年3月18日に締結された「本別町が発注する工事等の契約からの暴力団等排除に関する合意書」は廃止され、今回の合意書に一本化されます。

本別町起業家等支援事業

成果発表会



平成24年4月にスタートした町起業家等支援要綱を活用して、起業や新商品開発に携わった個人や企業の成果発表会が3月26日、津村会館で実施されました。

これからが勝負。思いを大切に

この事業には、予想を越す12件の応募があり、3回の事業計画審査委員会（委員長＝砂原勝副町長）で全件を認定。内訳は起業家等支援7件、新商品等開発支援5件となりました。発表会では、採択順に苦労話や今後の展望、支援への感謝が述べられた後、事業計画審査委員から、「これからが勝負。皆さんに期待しています」「これからどうするかという思いが大切」などと講評がありました。最後に懇親会が開かれ、出席した25人が新商品の試食などをしながら同事業に関する話に花を咲かせました。

申込みおよびお問い合わせ
帯広年金事務所
 ☎0155-25-8113
住民課戸籍年金担当
 ☎22-8128

後納制度を利用できる人とは日本年金機構から通知文が届きますが、気になる人は「ねんきんネット」を利用して、ご自分の年金記録を確認しましょう！
 「ねんきんネット」の利用は住民課窓口でも可能です。利用をご希望される人は、本人確認などの手続きがあるため、次までお問い合わせください。

平成25年度 年金後納制度保険料（月額）

| 後納対象年度 | 後納保険料額 | 加算額 |
|--------|---------|--------|
| 平成15年度 | 14,860円 | 1,560円 |
| 平成16年度 | 14,640円 | 1,340円 |
| 平成17年度 | 14,690円 | 1,110円 |
| 平成18年度 | 14,750円 | 890円 |
| 平成19年度 | 14,780円 | 680円 |
| 平成20年度 | 14,890円 | 480円 |
| 平成21年度 | 14,970円 | 310円 |
| 平成22年度 | 15,240円 | 140円 |
| 平成23年度 | 15,020円 | 0円 |
| 平成24年度 | 14,980円 | 0円 |

年金後納制度
 ご存じですか
 その133

未払いの年金保険料を過去10年間さかのぼって納付できる年金後納制度が、昨年10月からスタートしています。年金保険料の納め忘れがあるなど、お心当たりのある人はぜひご利用ください。

なお、平成25年度の年金後納制度保険料額は次の通りで、3年以上さかのぼって納付する場合は、当時の保険料に加算額が上乘せされますのでご注意ください。

年金後納制度
 この制度は、納付月数が足りずに年金受給権が無かった人、年金受給権はあるが未納期間があるため支給額が少ないと想定される人などを救済するため、過去に納めていなかった年金保険料を納められるようになったものです。

国民年金
 10年

HELLO 教育委員会

「教育が未来をつくる」
熱い思いを合い言葉に!!

本別町教育委員会
教育委員長 水谷 令子



いつの時代にあっても、子供たちの明るい声や笑顔、元気な姿は地域の活力の源です。子供たちには創造性が備わっていて、みんな才能をもっています。

教育委員会では、子供たち一人ひとりの才能を開花させたいと強く思っています。地域の皆さまが「先生」となって、経験を通して学んできた“知識と知恵”は、子供たちに「生きる希望と勇気」を与えることができると信じています。

今を生きる仲間として、未来を担う子供たちに熱いエールを送っていただきたいと思います。町民の皆さまのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



医師・保健師による特別授業



本別・南三陸ふるさと交流



布施 耕一
教育委員長職務代理者



山下 博志
教育委員



鈴木 清志
教育委員



中野 博文
教育長

本別高等学校 皆さんの応援をお願いします!

本別高校の教育を考える会では、近年の著しい少子化により中学校卒業生数が減少し、将来的に本別高等学校の現行2間口(2学級)の確保が危ぶまれることから、間口の維持確保および本別高等学校の存続に向けて、進路指導・学力向上・特別活動への支援や生徒・保護者の負担軽減を図るための通学費助成などを行っています。また、毎年、小中高合同研修会を開催し教職員等の連携を図るとともに、近隣の中学校を訪問し本別高等学校への入学を促すための活動や道教委への要請活動を展開するなど、「魅力ある学校づくり」を支援しています。

しかし、今年の本別高等学校への入学者数は少子化の影響により38人となり、開校以来、初めて1学級となりました。今後の2間口の維持および存続が厳しい状況を迎えたことから、さらなる支援の強化を図るべく、教育委員会および関係機関・団体と対応策等を検討することとしています。

十勝管内で2番目の旧制中学校として開校して以来、70年以上の伝統を誇る本別高等学校の存続のためには、町民の皆さんの大きなご支援が必要です。本別高等学校では、毎年7月には「本高祭」、10月には町民の皆さんが参観できる「地域公開授業週間」を設けています。これらの各種学校行事や部活動などへの積極的な参加・応援が大きな支えとなります。今後も、学校・保護者・地域が一体となった「魅力ある学校づくり」のため、多くの町民の皆さんのご支援ご協力をお願いいたします。

【本別高校の教育を考える会】

【教育に関する相談窓口】

児童・生徒や保護者等からの教育に関する心配事や悩みなどの相談に24時間対応しています。必要に応じて教育相談員を紹介いたします。

教育相談電話 ☎ 0120-627867

相談員のご紹介

井出 智子 さん(新 町)
志戸田 由美子 さん(勇足元町)
田口 小百合 さん(緑 町)
工藤 雅史 さん(教育委員会)

平成25年度 町内小中学校

入学式



本別中央小学校入学式

希望を胸に

平成25年度町内小中学校入学式が4月8日、大勢の在校生や保護者などが見守る中、各校で開かれました。

今年度の新入生は、小学校45人、中学校56人の計101人。児童・生徒らは、希望を胸に新しい環境での生活をスタートさせました。平成26年度に本別中学校に統合され、67年の歴史に幕を閉じる仙美里中学校では、最後の新生となる篠原彩加さんと成田豊さんを温かく迎えました。式見祝賀校長の式辞、水谷令子教育委員長らの祝辞の後、生徒会長の布施あかねさんが、「2人が来るのを楽しみにしていました。戸惑うこともあると思いますが、中学校生活には楽しいこともたくさんあります。何事にも全力で頑張りましょう」と歓迎のあいさつ。続いて、篠原さんが「何事にもチャレンジしたい」と思いを述べ、成田さんが「僕は部活や勉強を頑張ります。仙美里中学校の伝統を受け継ぎながら、精一杯頑張ります」と誓いの言葉を述べました。



仙美里中学校入学式
誓いの言葉を読み上げる、篠原彩加さん(右)と成田豊さん

バスに乗って 映画を見に行こう! 3 25~28

ふるさと銀河線代替バスを利用した春休み子ども映画観賞ツアー（同代替バス振興会議主催）が3月25日から28日の4日間、町内小学生を対象に本別帯広間で実施されました。この取り組みは、平成20年度から毎年行われており、今回は過去最多の69人が参加。参加した子供たちはバスの乗車マナーや集団行動を学びながら、帯広市内の映画館で人気アニメの映画を楽しみました。



人物撮影の テクニックを学ぶ 3 29

大人の社会教育講座「めんこいわが子、わが孫をより可愛く撮れる秘訣教えます!」が3月29日、中央公民館で開催されました。写真絵本作家の小寺卓矢さんを講師に迎え、参加した13人は初めにカメラのしくみやアングルなど写真撮影のコツを学んだ後、愛用のデジタルカメラを使い、図書館講座で子供たちがクレープ作りを楽しんでいる様子を撮影する実習に挑戦。参加者は講師と一緒にかわいらしい子供たちの姿を写しながら、人物撮影のテクニックを学びました。



老人クラブの 現状を話し合う 4 2

本別町老人クラブ連合会呼び掛けによる、町長がおじゃましますが4月2日、あいの里交流センターで開かれました。懇談では、高橋正夫町長と出席した同会会員7人が、会員の減少や役員のなり手がいないなどの老人クラブ連合会や単位老人クラブが抱えるさまざまな問題や課題のほか、町補助金やゲートボール場屋根修理などの要望について意見を交わしました。



故 門田弘美さんに 特別表彰 4 3

故 門田弘美さんが厚生労働大臣特別表彰を受賞し4月3日、高橋正夫町長らが仙美里元町の自宅を訪れ、妻の裕子さんへ表彰状と記念品を伝達しました。この表彰は、民生委員児童委員として20年以上在職した人に贈られるもので、門田さんは同委員として25年4か月在職。裕子さんは、「夫は地域のお年寄りや皆さんのことを気に掛け、よく面倒を見ていた。頑張ったなと思います」と語りました。



折り鶴 南三陸町に届く 3 26

町長がおじゃましますが3月26日、南地区集会所で開かれました。南1丁目自治会（岡田清治会長）認知症予防教室なごみサークルの呼び掛けによるもので、同サークル会員23人が参加。高橋正夫町長は、同サークルが南三陸町の復興を願って制作した約1,500羽の折り鶴を、今年2月に岡田会長らと共に同町を訪れ佐藤仁南三陸町長に手渡したことや、進まない現地の復興状況について話したほか、25年度も福興市に参加するなどしっかりと交流をし、絆を深めたいと述べました。



消防庁長官表彰の 功労章受章 4 1

遠藤利之池北三町行政事務組合本別消防団長が消防庁長官表彰の功労章を受章し4月1日、高橋正夫町長から章記と功労章が伝達されました。この章は、消防団長の職に10年以上在職した人に授与されるもので、遠藤団長は平成14年から11年間本別消防団長として在職。遠藤団長は「多くの先輩に引き立てられ、ここまでできたのが受章につながり感謝しています。これを機にさらに地域の安全安心のため尽くしたい」と受章の喜びと今後の抱負を語りました。



生演奏と踊りの プレゼント 4 2

家庭教育支援事業「なかよし」親子のためのふれあい音楽会が4月2日、子育て支援センターで開かれました。本別高校吹奏楽部（藤本優羽部長）6人による童謡や手遊び歌の演奏のほか、保育士を志望する同校3年生4人が、曲に合わせて歌や踊りなどを子供たちへプレゼント。参加した12組15人の親子は生の演奏に耳を傾けたり、高校生の踊りに合わせて手足を動かすなど、楽しいひとときを過ごしました。



十勝代表として 全道大会へ 4 3

3月30日、31日に千歳市で開催された第26回北海道ミニバスケットボール新人大会に帯広選抜代表選手として出場した鍋野亘輝くん（本別中央小6年）が4月3日、役場を訪れ高橋正夫町長に大会出場結果を報告しました。鍋野くんは、「選抜の公式試合で初めて得点を入れられてよかった。選抜で学んだことを生かしてこれからもチームに貢献したい」と語り、高橋町長は「これからも頑張ってください」と激励しました。



ホクレン女子 陸上競技部も出場

4 21

ほんべつ公園クロスカントリー大会が4月21日、本別公園で開催されました。本別陸上クラブ（我妻勇次会長）設立50周年記念事業として実施されたこの大会には、十勝管内外から過去最多となる小学生から一般212人のほか、ゲストランナーとしてホクレン女子陸上競技部のコーチと選手7人が出場。選手らは、起伏に富んだコースを元気いっぱい走り抜き、爽やかな汗を流しました。競技終了後に行われた陸上教室では、ホクレン女子陸上競技部選手が、「走ることの楽しさ」を伝えました。



十勝の魅力をPR

4 16

十勝の観光や魅力を道内外へPRする「第19代とかち青空レディ」の2人が4月16日、表敬訪問のため役場を訪れました。鮮やかな黄色の衣装を身にまとった2人は、高橋正夫町長と懇談しながら、「イベントなどの時にぜひ呼んでください」などと話しました。



素晴らしい コンディション

4 15~18

野外体育施設の転圧作業が4月15日から18日までの4日間、井上産業（井上好春社長）によるボランティアで実施されました。これは、地域貢献活動の一環として行われたもので、転圧後の芝生やグラウンドは素晴らしいコンディションになりました。



故 荒木又造さんに叙勲

4 5

故 荒木又造さん（元町議会議員）が旭日単光賞を受章し4月5日、高橋正夫町長らが美里別西上の荒木さん宅を訪れ、妻のタエさんに勲記と勲章を伝達しました。荒木さんは、昭和53年8月に本別町議会議員に当選して以来、5期20年にわたり在職。この間、本別町議会文教民生常任委員会委員長、副議長を歴任され地方自治の育成発展に大きく貢献されたほか、本別町農業委員会委員、本別剣道連盟会長など数多くの要職を務め、町行政の進展と町民の健康増進に寄与されました。



キノコ栽培に挑戦

4 21

本別町林業グループ（山下正範会長）によるキノコ栽培研修会が4月21日、町ふるさと産業開発センターで開催され、44人の参加者が植菌やほだ木の管理など、キノコ栽培のノウハウを学びました。参加者らは、用意された原木（ミズナラ・カシワ）約350本に電動ドリルで穴を開け、シイタケの種金を丁寧に植え付ける作業に取り組み、出来上がったほだ木は大切にそうに持ち帰りました。



火災予防を呼び掛け

4 20

春の全道火災予防運動（4月20日～30日）初日の4月20日、火災予防運動パレードが町内で実施されました。高橋正夫町長が「春は野火や森林火災が心配な時期。無火災無災害に向けて町民の皆さんへ啓蒙活動をしっかり行ってください」とあいさつした後、消防車両10台と本別町危険物安全協会の車両11台の計21台が本別消防署前を出発。町内約5キロを走行しながら火災予防を呼び掛けました。



町民懇談会

4 16・18・19

本別町議会（方川一郎議長）による第4回町民懇談会が4月16日、18日、19日の3日間、町体育館や勇足地区公民館など6会場で開催され、各会場合わせて79人が出席しました。2班に分かれて実施された懇談会では、議員から平成24年議会活動報告がされた後、出席者から「本別高校存続問題」や「議会広報掲載内容」など、様々な意見や要望が出され、活発な意見交換となりました。



道東消防長集う

4 11

全国消防長会北海道支部道東地区協議会総会（地区会長＝星光二釧路市消防本部消防長）が4月11日、町内温泉ホテルで開催されました。会議には、道東地区の消防本部消防長17人が出席し、星代表が、「無線のデジタル化や人材の減少、緊急出動の増加など、さまざまな問題を抱えている。一致結束し、消防組織の連携強化を進めてほしい」とあいさつ。引き続き行われた議事では、平成25年度事業計画などの提出議案が審議され、原案通り可決されました。



未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたくさんの愛に包まれてすくすく元気に育ってね!



美里別西上
大和田 知咲 (絵美ママ)



向陽町
岩本 将吾 (由夏ママ)



緑町
末下 輝星 (沙帆ママ)



新町
首藤 琉生 (歩美ママ)

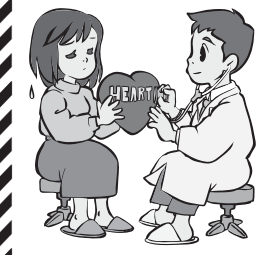


山手町
谷 七美 (一美ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

みんなの健康

345



もし「心の病」になつてしまつたら...

5月は新しい職場や学校など、今までと違う環境の変化で少し疲れの出る頃です。「心の病」になつた時、頼りになるのはやはり病院。しかし「心の病」と言っても、その種類はさまざまで、症状も一人ひとり異なります。

「心の病」を扱う病院の中で混乱しやすいのが「精神科」と「心療内科」。一見どちらも心の治療を専門としているように思われますが、2つの科には明確な違いがあります。

「精神科」では、心の病を精神的な側面から治療し、統合失調症、うつ病、強迫性障害などの改善を図ります。一方「心療内科」は、ストレスなどの精神的要因による

つて起こるさまざまな身体的症状、もしくは身体的要因がもたらす精神症状の治療を行います。「病院にはちよつと行きづらい...」という人は、薬物療法を行わない「カウンセリング」もひとつの方法です。「話を聞くプロ」であるカウンセラーに悩みや不安を打ち明け、心が安定し、充足感を得ることが出来ます。ここでは自分の思うままに話をするのが何よりも大切で、カウンセラーは対象者の話をとくにストレスの原因となる人や物を探し出します。カウンセリングの最も大きな役割は、このような対話を通して、何が苦痛となつているのかを「自覚」させ、対象者自身にその対処法を考えさせることにあります。

健康管理センターでは、心理カウンセラー・山嘉都美氏によるこの「ほつと相談」を行つていきます。当事者だけでなく、各家庭や職場で、接し方に悩んでいる人の相談に乗ることもできます。個人情報には固く守られますので、相談をご希望の方は、健康管理センターまでご連絡ください。

本別町健康管理センター
保健師 山崎 奈央

銀河ホップアップ

— 足寄町・陸別町から —

足寄町

第32回

足寄ふるさと花まつり

シバザクラやツツジを眺めながら、家族や友人と焼き肉を食べて楽しいひとときを過ごしませんか。皆さんのお越しをお待ちしています。

陸別町

ふるさと銀河線りりべつ鉄道のご案内

- ふるさと銀河線りりべつ鉄道の今年度の営業が始まりました。今年度は、新たにトロッコ用線路が直線コースから周回コースにリニューアルされる予定となっておりますので皆さまのご来場をお待ちしております。
- 内容 気動車(列車)の乗車・運転体験(Sコース)、トロッコ乗車体験が楽しめます。
- 気動車乗車体験/トロッコ乗車体験
 - 大人 300円(中学生以上)
 - 小人 200円(小学生)
 - 幼児 無料(保護者同伴)
- 運転体験Sコース 2000円 (対象者:小学校高学年以上または身長130cm以上の人)
- 営業日 第2・第4土曜、日曜日 午前9時~午後4時30分 (受け付けは午後4時まで)
- ※お盆、町内イベント時には臨時営業が予定されています
- ※運転体験Lコース・銀河コース(完全予約制)についてはお問い合わせください
- 営業期間 10月27日(日)まで
- 問い合わせ ふるさと銀河線りりべつ鉄道 271-2012
- 詳細 足寄町役場経済課林業商工観光室 251-2141 内線242
- とき 5月26日(日) 午前10時~
- ところ 足寄町里見が丘公園フラワー園
- 内容 町民ステーション、牛の丸焼き、カマス揚げ大会、抽選会、炭の無料配布など

ご寄付ありがとうございます

平成25年3月13日から4月5日

次の通りご寄付をいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町老人ホーム指定
 - タオル17本、タオルケット1枚、バスタオル3枚、敷布4枚 錦町 二瓶大輔
 - タオル300本 札幌市 エンディング総合支援サポートの会 会長 池田智裕
 - タオル50本、バスタオル4枚、雑巾65枚、雑布3kg 本別町赤十字奉仕団 委員長 佐藤郁子
 - タオル80本 本別町役場職員夫人一同 代表 高橋照子

- タオル55本 北6丁目 小川恵津子
- タオル300本 J A本別町女性部
- タオル30本 美里別西上 貝沼ふじゑ
- タオル30本 匿名
- ★本別町指定
 - 交通安全啓発のぼり 旗40枚・ポール30本 十勝地方交通安全運転管理者事業主会 本別支部長 佐藤 武
 - ★図書購入指定
 - 金50,000円 南1丁目 今野民子
 - 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
 - ★福祉でまちづくり推進事業
 - 金32,063円 昭和25年度本中卒業の会 二五会会員一同

本のある暮らし

146

戸籍のまど

お誕生

3月後半から
4月前半の
届出分

方川 洋峰^{ひろたか} 洋一^{やういち} 3/19 美里別東上

渡辺 紗弥^{さやみ} 徹^{てる} 3/31 栄 町

北田 梨紗^{りさ} 智之^{ちの} 4/2 柏木町

井出 颯^{さつ} 秀^{ひで} 4/6 南4丁目

ご結婚

(東海林 慶彦^{あきひこ} 仙美里元町
工藤 奈緒^{なほ} 仙美里元町)

おくやみ

了津 憲夫^{けんぶ} 68歳 3/15 南1丁目

倉重 久子^{ひさこ} 72歳 3/27 栄 町

方川 和也^{わだ} 42歳 4/1 栄 町

小島 豊昭^{とよあき} 83歳 4/5 栄 町

今村 キク^{きく} 94歳 4/12 北2丁目

金子 キク工^{きくこう} 88歳 4/13 西仙美里

小川 重太郎^{しげたろう} 84歳 4/14 栄 町

わたしたちのまち

前月比

人口 **7,888人(-131)**

男 **3,837人(-79)**

女 **4,051人(-52)**

世帯数 **3,724戸(-55)**

〔3月末日住民基本台帳〕

図書館ぶっくるカフェ がはじまります



ぶっくるカフェ

図書館 1階

5.8 AM 10:30

OPEN

先着50人に
心のこもったプレゼント!

くつろいだ雰囲気の中で、
ゆったりと読書…楽しく
おいしいひとときをどうぞ!

MENU

コーヒー ¥100

ジュース ¥100

営業時間

毎週 水・金曜日

AM10:30~PM3:30

※図書館休館日は休業

ぶっくるカフェのこだわり

無農薬栽培の豆を使用した、人にも環境にもやさしいコーヒー

・コーヒー豆の購入が開発途上国の森林保護につながります

心をこめたドリップ

・ぶっくるスタッフが、香りも味も立つよう丁寧にコーヒーを入れます

本との出会いを楽しめる

・絵本の読み聞かせなどを通して、図書館ならではのコミュニケーションが生まれます



お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称:ぶっくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112